

第1章 アンケート調査の概要

1 調査の目的

高齢化時代において、高年齢者が職業能力を有効に発揮していくために、中高年齢期における能力開発の必要性が増している。

そこで、中高年齢者の特性を配慮した指導法の改善を図るための一環として、公共職業能力開発施設に在籍している中高年齢層の訓練生を対象に、訓練受講状況を中心にアンケート調査を行った。

2 調査の概要

(1) 調査方法

無記名のアンケート調査票による質問紙調査とし、各職業能力開発施設を通じて訓練生個人に配布し、回収を行った。

(2) 調査対象

公共職業能力開発施設を中心に、30施設（県立26、事業団立4）の普通職業訓練普通課程及び短期課程に在籍する訓練生745名について実施した。なお、調査には、修了1～2ヶ月前の訓練生で45歳未満の訓練生も含んでいる。

(3) 調査時期

平成10年3月

(4) 回答数

745名中740名から回答があり、回答率は99.3%であった。

(5) 調査項目

イ 入校時の状況

入校目的、受講訓練科と前職の関連

ロ 訓練受講に関すること

訓練受講上の苦勞、訓練受講と学習方法、身体機能の負担、訓練受講上の心配、教え方への要望

ハ 訓練修了後の希望等

職業経験と技能の習得、就きたい職種、意見・感想

3 調査結果の概要

アンケート調査票の設問及び意見・感想から入校時の状況、訓練受講に関すること、そして訓練修了後の希望等についてまとめた。詳細については、第2章の調査結果及び自由記述・意見を参照されたい。

(1) 性別と年齢

回答者の内訳は、「男性」81%（598名）に対し、「女性」15%（110名）である。また、年齢は、「60歳以上」が39%（290名）と多く、「55～59歳」は22%（166名）、「45歳～54歳」は24%（179名）となっている。

(2) 学歴

全体の47%が「高校卒」、次いで「中学卒」26%、「大学卒」は15%となっている。

(3) 訓練科

受講訓練科は、「建築・居住系」が全体の約半数を占め、次いで「機械・金属系」が28%と多い。

(4) 健康状況

健康状態は「普通」が77%、「非常によい」が19%で、「よくない」が3%となっている。

(5) 入校前の離職理由

「定年のため」が47%と約半数であり、「自己都合」も31%と多い。

(6) 入校目的

「新しい技能を身につけるため」が75%、「技能の幅を広げるため」が10%、「資格を取得するため」が8%の順になっている。

(7) 訓練科を選んだ理由

「新しい分野で働きたいから」が59%、次いで「前職と関係があるから」が14%、「就職しやすいから」が11%の順になっている。

(8) 入校前の職業と訓練科との関連

66%が「関連職種の経験が全くない」とし、27%が「関連のある職種を少し経

験した」としている。

(9) 入校時の心配ごと

「技能が身につくか」が42%、「就職は大丈夫か」が37%、「訓練が難しくないか」が28%、また「訓練職種は自分に向いているか」は18%、「健康で続けられるか」は10%となっている。

(10) 訓練受講に関すること

イ 訓練受講時の苦勞

- ・ 専門用語及び公式・記号については「苦勞した」が22%、「苦勞しなかった」が9%となっている。
- ・ 計算については「苦勞した」が17%、「苦勞しなかった」が16%となっている。
- ・ 図面・図表の作成については「苦勞した」が20%、「苦勞しなかった」が10%となっている。
- ・ 手先を使う作業については「苦勞しなかった」が14%、「苦勞した」が10%となっている。
- ・ 目を使う作業については「苦勞した」が15%、「苦勞しなかった」が10%となっている。
- ・ 体を使う作業については「苦勞しなかった」が23%、「苦勞した」が5%となっている。

ロ 作業について

- ・ 年齢層別グループ分けについては86%が「こだわらない」としている。
- ・ 作業時の緊張度については67%が「緊張する」としている。
- ・ 仲間の作業のやり方や進み具合については「かなり気になる」が11%、「ある程度気になる」が53%となっている。
- ・ 身体機能の負担については「負担を感じる」が33%、「感じない」が67%となっている。

ハ 学習の取り組み方

- ・ 一つのことを深く学習するについては54%が「あっている」としている。
- ・ 考えることを重視した学習をするについては47%が「あっている」としている。
- ・ 「自分のペースで学習する」、「時間をかけて学習する」、「反復学習をする」、

「実用性を重視した学習をする」については、それぞれ54～59%である。

ニ 指導の内容と教え方（学科）

- ・関連する知識を含めた基礎的な内容を教えて欲しい」が60%、「図解や関連づけをして教えて欲しい」が42%、「資格取得に結びつけて欲しい」が31%、「授業の終わりに整理をして欲しい」が20%となっている。

ホ 指導の内容と教え方（実技）

- ・「作業のカン、コツ、ポイントを教えて欲しい」が61%、「出来上がり像を教えてもらってから作業に取りかかって欲しい」が38%、「関連する知識を含めた基礎的なことを教えて欲しい」が31%、「資格取得に結びつくことを教えて欲しい」が22%、「図解や関連づけをしながら教えて欲しい」が22%となっている。

(11) 入校前の職業経験が技能習得に役立っているか

55%が「役立っている」とし、44%は「役立っていない」としている。

(12) 習得した技能は今後、役立つと思うか

88%が「役立つ」とし、11%が「役立たない」としている。

(13) 修了後どんな仕事（職種）に就きたいか

「訓練職種と関連する仕事」が56%、「入校前の職種に関連する仕事」が14%、「こだわらない」が29%となっている。